

社内バザーの収益金を 市川市社会福祉協議会へ寄付

京葉ガス「小さな親切」の会は2月15日、昨年12月に社内で開催したチャリティーバザーの収益金を全額、市川市社会福祉協議会に寄付しました。収益金は過去最高の89,262円です。



大久保博・市川市長にバザーの収益金を手渡す当社常務取締役・湯山(左)

当社社員で構成する「京葉ガス『小さな親切』の会」は、毎月の事業所周辺での清掃活動や定期的な献血活動などを行っています。

「チャリティーバザー」は社員から集めた日用品などを出品する年末恒例の活動で、昨年は12月22日から25日までの4日間にわたり本社（市川市）で開催し、過去最高の89,262円の売り上げがありました。

この収益金を地域福祉に役立てていただこうと2月15日、同会会長の湯山英清（当社常務取締役）らが市川市役所を訪れ、大久保博・市川市長に手渡し、同市社会福祉協議会に寄付しました。